

アクセルをより知っていただくためのIRマガジン

AXELL

R e v i e w

第28期中間報告書

2022.4.1 → 2022.9.30

社長ごあいさつ

持続した成長を目指して 新組織体制による積極策を推進します。

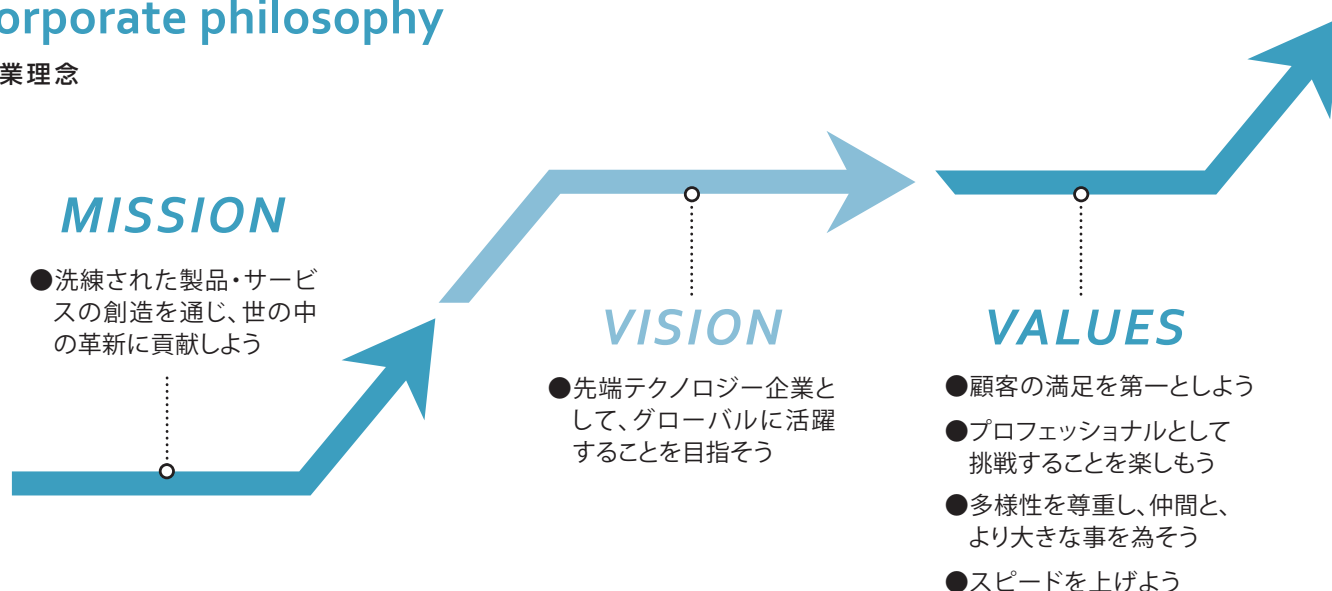
当中間期は、半導体の供給不足やインフレ懸念など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。こうした中、当社グループは新組織体制のもと、LSI開発販売関連では安定収益の確保に注力し、新規事業関連では持続的な成長・飛躍を目指した活動を積極的に推進しました。下期にかけては、パチンコ・パチスロ機市場で次世代遊技機の投入や、半導体市場の需給ひっ迫を見据えた各メーカーによる部材の積極確保等により底堅く推移するものと思われます。当社グループはこのような状況への確に対応し、持続的な成長に向け積極的な取り組みを進めていきます。株主の皆さまには引き続きのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長
斉藤 昭宏

Corporate philosophy

企業理念



業績のご報告

当中間期の業績について

「LSI開発販売関連」セグメントの当中間期における売上高は6,737百万円(前年同期比1,947百万円増)、セグメント利益は1,346百万円(同332百万円増)となりました。これは主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIの販売が前年同期より2.8万個増の24.3万個となり、メモリモジュールの販売も採用顧客の好調な販売動向に支えられて前年同期を大幅に上回ったことによるものです。

「新規事業関連」セグメントでは、機械学習/AI領域の売上高を中心に伸展し、売上高は323百万円(前年同期比91百万円増)、セグメント損失は135百万円(同72百万円減)となりました。

以上の結果から当中間期は売上高7,061百万円、売上総利益2,267百万円となりました。販売費及び一般管理費は1,402百万円、うち研究開発費は770百万円となりました。これにより、営業利益864百万円、経常利益893百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は701百万円となりました。

また、当中間期末の財政状況は、流動資産11,841百万円、うち現金及び預金は9,014百万円、自己資本比率は83.3%で、引き続き高い健全性を維持しています。

通期の連結業績について

当期の連結業績につきましては、2022年5月10日に業績計画を公表しましたが、その後の業績動

向を踏まえて2022年9月21日に上方修正し、売上高13,400百万円(計画比18.6%増)、営業利益1,220百万円(同165.2%増)、経常利益1,360百万円(同134.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,020百万円(同104.0%増)としました。

主な要因は、世界的なサプライチェーンの混乱や半導体需給のひっ迫による影響から多くの顧客が部材を積極的に確保する動きが顕著になっており、パチンコ・パチスロ機向けでは当初45万個を計画していたグラフィックスLSIの販売が約47万個の見通しとなったことに加え、メモリモジュール製品の販売も顧客の旺盛な需要により計画を大幅に上回る見通しになるなど、受注動向が極めて高い水準で推移していることによるものです。

一方で、世界的なサプライチェーンの混乱は収束しておらず、当社製品の生産面に対する影響には不透明さが残っています。今後生産面への見通しが判明し、通期の業績計画に修正が必要と判断した場合には、速やかに公表します。

当期末の配当につきましては、業績計画の修正に伴い、当社の株主還元方針(配当性向50%)を踏まえて普通配当は47円とし、これに上場20周年の記念配当を加えて1株当たり年間配当63円(前年実績40円)へ上方修正しました。

今後の成長戦略について

LSI開発販売関連では、当社グループの主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場において、市場の

縮小傾向が2020年度に底を打ったものと分析しており、また、次世代遊技機の市場投入も予定されています。このような状況の中、当社グループは、引き続き独自の技術と顧客との盤石な信頼関係を生かし、多様なニーズに対応する高付加価値製品をタイムリーに提供することで安定収益を確保していきます。メモリモジュールはグループ企業であるaimRage株式会社と密に連携し、さらなる積極的な経営施策を推進していきます。

新規事業関連では、これまでの積極戦略を推進するとともに、アライアンスや出資も積極的に行い早期収益化と持続的な成長を目指します。

「組み込み機器向け製品」では、多種多様にわたる組み込み機器に向けたグラフィックスLSIの販売拡大を加速させます。「機械学習/AI領域」では、AIフレームワーク「ailiaSDK」の開発で培ったAIの実装と最適化に関する高度な知見を基に、様々な顧客ニーズに対応した高付加価値のAIトータルソリューションを提供し、社会課題の解決等に貢献します。今回、株式会社エヌエスアイテクスなど4社で協業し、自動車をはじめ様々なエンドユーザに対する組み込み機器向けのAIソリューションの共同開発に取り組みます。「セキュリティ領域」では、USB型セキュリティキー「SHALO AUTH」のB2C(一般消費者向け)販売を開始。使い勝手の良さや、充実したサポートを提供し、顧客拡大・収益化を図ります。「ミドルウェア領域」「ブロックチェーン領域」でも、引き続きマーケティングや商品開発を進めていきます。

今後も当社グループの強みを生かした取り組みを積極的に行い、事業の成長と持続的な安定収益確保に注力していきます。

Column 1

配当予想の上方修正をお知らせします

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想	－	40円 (普通配当24円) (記念配当16円)	40円 (普通配当24円) (記念配当16円)
今回発表予想	－	63円 (普通配当47円) (記念配当16円)	63円 (普通配当47円) (記念配当16円)
当期実績	0円		
前期実績	0円	40円	40円

業績計画の修正に伴い、配当性向50%の株主還元方針にもとづいて配当予想を修正しました。修正後の普通配当における連結配当性向は50.0%、上場20周年記念配当を含めると67.1%になります。

Column 2

株主優待制度を導入しています

投資先としての魅力向上で知名度を高めるとともに、当社株式を長く保有してもらうことを目的として、株主優待制度を導入しています。具体的な株主優待の内容は以下のとおりです。保有株式数、継続保有期間に応じてクオカードを贈呈します。

保有株式数	継続保有期間及び優待内容		
	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上
100株以上500株未満	－	クオカード500円	
500株以上	－	クオカード 500円	クオカード 3,000円

●毎年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主さまで、上記の継続保有期間及び保有株式数に該当する株主さまを対象とします。
※継続保有期間1年以上とは、毎年3月31日及び9月30日の当社株主名簿に同一の株主番号で、3回以上連続して記載又は記録された株主さまとします。
※継続保有期間5年以上とは、毎年3月31日及び9月30日の当社株主名簿に同一の株主番号で、11回以上連続して記載又は記録された株主さまとします。なお、保有株式数については、直近の基準日時点の保有株式数にて判定します。

第28期中間期の連結業績結果

(百万円)

	前中間期実績	当中間期実績	増減率
売上高	5,021	7,061	41%
売上原価	3,428	4,793	40%
売上総利益	1,593	2,267	42%
販売費及び一般管理費	1,088	1,402	29%
営業利益	504	864	71%
経常利益	523	893	71%
親会社株主帰属利益	421	701	67%

通期連結業績計画

(百万円)

	前期実績	当期通期計画	増減率
売上高	10,666	13,400	26%
売上原価	7,150	9,200	29%
売上総利益	3,516	4,200	19%
販売費及び一般管理費	2,677	2,980	11%
営業利益	839	1,220	45%
経常利益	1,001	1,360	36%
親会社株主帰属利益	865	1,020	18%

通期連結業績計画に対する中間期の進捗

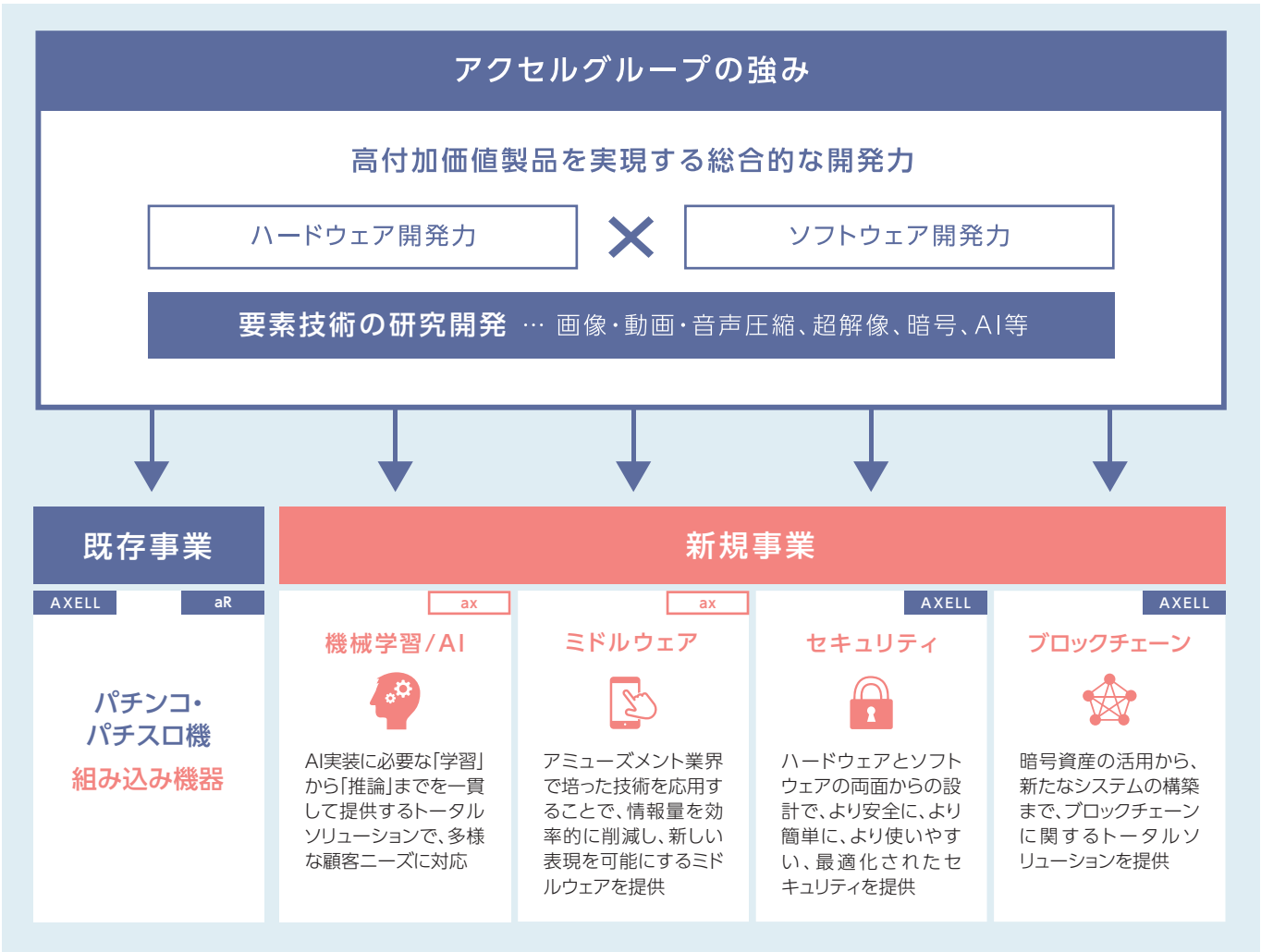
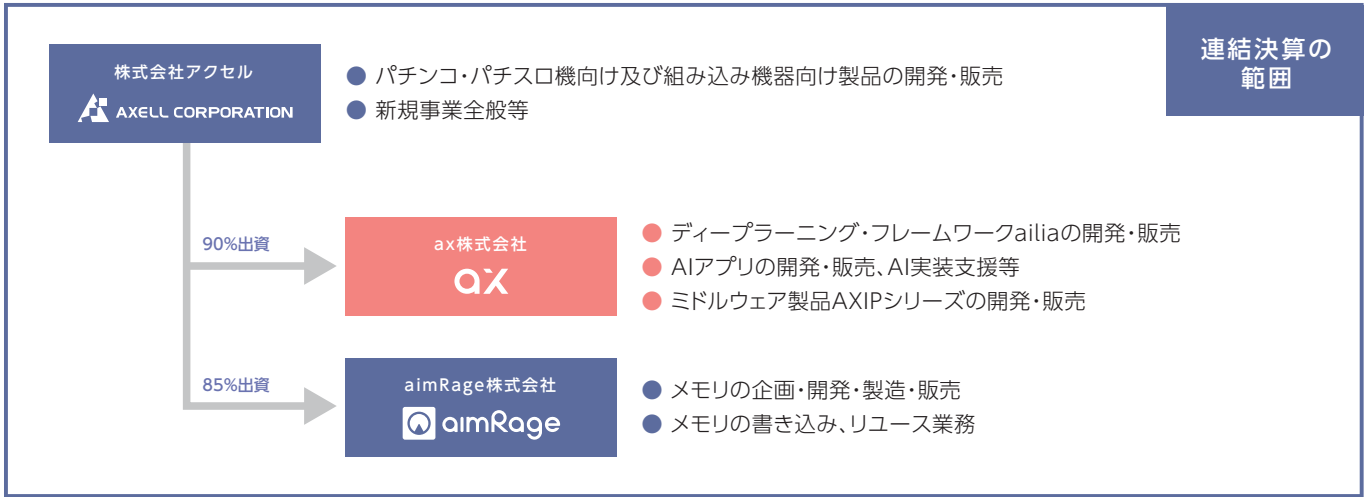
(百万円)

	当中間期実績	当期通期計画	進捗率
売上高	7,061	13,400	53%
売上原価	4,793	9,200	52%
売上総利益	2,267	4,200	54%
販売費及び一般管理費	1,402	2,980	47%
営業利益	864	1,220	71%
経常利益	893	1,360	66%
親会社株主帰属利益	701	1,020	69%

新規事業の進捗

アクセルグループの事業内容と強み

アクセルグループでは、既存事業での安定収益確保、さらには新規事業の展開を加速させるため、アライアンスや出資等の検討を積極的に行っています。各社で蓄積した技術・ノウハウをグループ内で融合することにより、お客さまに最適なソリューションを提供しています。



事例紹介

機械学習/AI

NSITEXE、OTSL、京都マイクロコンピュータと協業 高信頼エッジAIプラットフォーム開発を推進

IoTを活用したモビリティ社会やスマートシティの実現などに向け、エッジデバイス上で安全かつ低消費電力でAI処理を実現したいというニーズが高まっています。今回、(株)エヌエスアイテクス、(株)OTSL、京都マイクロコンピュータ(株)と共同で、様々なエッジAI推論ワークロードを安全かつ高い電力効率で一括処理可能なNSITEXEの半導体IPを活用した、高信頼エッジAIプラットフォームの開発を推進していくこととなりました。当社は今回のプロジェクトにおいて、組み込みシステムに最適な高速・高精度なAI実行環境を提供し、組み込みシステムの高付加価値化ならびに、エッジデバイスにおけるAIの普及を通じて、産業の活性化や社会課題の解決に貢献します。

共同開発をする4社の役割



セキュリティ

USB型セキュリティキー「SHALO AUTH」の一般消費者向け販売を開始

「SHALO AUTH」は、USBドングル内に秘密鍵を格納してログイン認証などを安全・簡単に行えるセキュリティソリューションです。2022年10月から楽天市場などで一般消費者向け販売を開始し、二要素認証を採用しているGmailやFacebookなどの個人ユーザのアカウント保護などへ市場を拡大していきます。企業向けには、アプリケーションなどを不正利用から保護し、簡単にライセンス管理が行える「SHALO LICENSING」を2021年から提供開始しており、アクセルの暗号技術を用いた「SHALOシリーズ」の使いやすさと迅速・的確なサポートを通じて、幅広くお客さまのセキュリティを支えています。

SHALOシリーズ



●記載されている会社名、製品等は、一般に弊社及び各社の登録商標又は商標です。

会社概要

設立年月日	1996年2月1日																		
資本金	10億28百万円																		
社員数	92名(アクセル単体)																		
事業内容	●半導体集積回路及び半導体集積回路を組み込んだプリント基板の設計、製造、販売 ●画像・音声・機械学習等に関する要素技術の研究、開発、販売 ●情報セキュリティに関する要素技術の研究、開発、販売 ●ブロックチェーンに関する要素技術の研究、開発、販売 ●インターネットを利用した各種情報提供サービス業 ●ソフトウェアの開発、販売 ●前各号に関する応用機器の設計、製造、販売 ●古物売買業 ●前各号に付帯する一切の事業																		
取締役	<table> <tr> <td>取締役会長(代表)</td><td>松浦 一教</td></tr> <tr> <td>取締役社長(代表)</td><td>斉藤 昭宏</td></tr> <tr> <td>常務取締役</td><td>客野 一樹</td></tr> <tr> <td>取締役</td><td>岸本 貴臣</td></tr> <tr> <td>取締役</td><td>菊地 篤志</td></tr> <tr> <td>取締役(監査等委員)</td><td>西坂 禎一郎</td></tr> <tr> <td>取締役(監査等委員)</td><td>三村 勝也</td></tr> <tr> <td>取締役(監査等委員)</td><td>鈴木 眞巨</td></tr> <tr> <td>取締役(監査等委員)</td><td>五十島 滋夫</td></tr> </table> ※監査等委員は全員独立社外取締役です。 ※西坂禎一郎氏は常勤の監査等委員です。	取締役会長(代表)	松浦 一教	取締役社長(代表)	斉藤 昭宏	常務取締役	客野 一樹	取締役	岸本 貴臣	取締役	菊地 篤志	取締役(監査等委員)	西坂 禎一郎	取締役(監査等委員)	三村 勝也	取締役(監査等委員)	鈴木 眞巨	取締役(監査等委員)	五十島 滋夫
取締役会長(代表)	松浦 一教																		
取締役社長(代表)	斉藤 昭宏																		
常務取締役	客野 一樹																		
取締役	岸本 貴臣																		
取締役	菊地 篤志																		
取締役(監査等委員)	西坂 禎一郎																		
取締役(監査等委員)	三村 勝也																		
取締役(監査等委員)	鈴木 眞巨																		
取締役(監査等委員)	五十島 滋夫																		
所在地	〒101-8973 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX 南ウイング10階 TEL:03-5298-1670 FAX:03-5298-1671																		
グループ会社	ax株式会社 aimRage株式会社																		
URL	https://www.axell.co.jp/																		

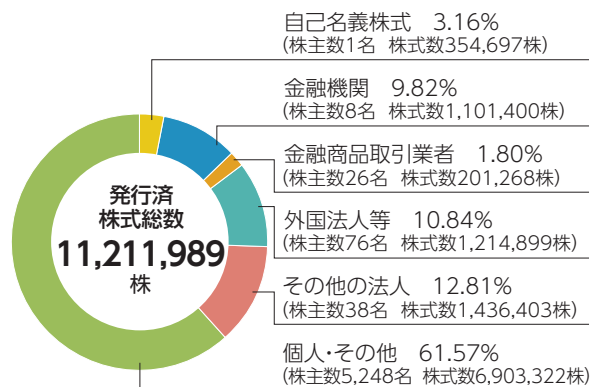
株式の概要

発行可能株式総数	23,112,000株
発行済株式総数	11,211,989株
株主数	5,397名

株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	870,600	7.76
緑屋電気株式会社	849,000	7.57
柴田 高幸	644,800	5.75
市原 澄彦	595,800	5.31
松浦 一教	413,060	3.68
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDP AIF CLIENTS NON TREATY ACCOUNT	368,000	3.28
株式会社アクセル	354,697	3.16
森屋 和喜	331,300	2.95
株式会社アパールデータ	260,000	2.31
佐々木 暁子	207,200	1.84

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします)
期末配当金	3月31日
受領株主確定日	(中間配当を実施する場合は9月30日)
公告方法	電子公告により当社ホームページ(https://www.axell.co.jp/)に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座	
口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

お知らせ

株式に関するお手続きについて

- (1) 株主さまの住所変更、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなっております。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問合わせください。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

UD FONT
by MORISAWA

